

PRTR(化学物質環境排出 移動情報公開)制度についてのアンケート調査から (神奈川県が中小企業向けに開いた説明会出席者の回答)

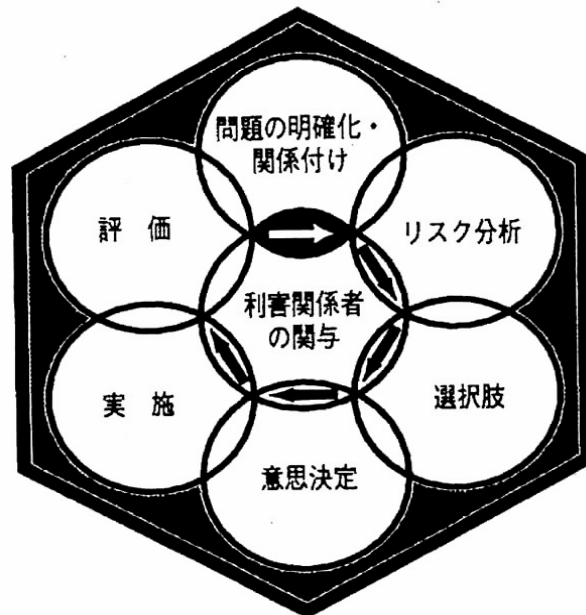
問題点	%
手間がかかる	46
安全性評価について不明	42
必要な情報の不足	40
人材と能力の不足	34
情報の利用形態が不明なこと	32
企業秘密の漏洩	19
マスコミによる報道	18
自治体の対応が不安	16
環境団体が騒ぐこと	15
国の対応が不安	13
他企業の対応が不安	6

## PRTRと情報開示

### 情報の理解における困難

- ・ 複雑なデータの意味を読み取る困難
- ・ 有害物質の排出情報と健康・環境リスクの関係を理解する困難
- ・ 有害影響のメカニズムが解明されていない、環境中の物質の動きや分解経路などに関し十分なデータがないなど、科学的にも不確実な場合があるための的確に判断がぐだしにくい困難

11

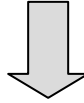


「環境リスク管理の新たな手法」（米国大統領諮問委員会報告より）

12

## 知らせればよいのか？

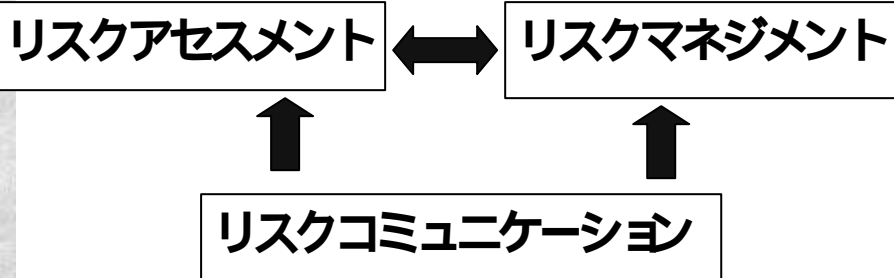
リスクコミュニケーションはインターネットのサイトでの情報公開や、技術者のないし役所的な感覚で通り一遍の技術データと解説を提供したのみで消費者の理解不足や感情的な反応を嘆くのは異なる



むしろ現在のわが国で、歴史的にまた社会の構造的基盤として必須となりつつある仕組みとしてとらえる必要がある

13

## FAOとWHOによるリスクアナリシスの提案 (1993年)



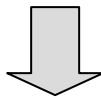
14

## リスクコミュニケーション

リスクを科学的に評価する専門家、リスク管理に責任ある行政、農家、メーカー、流通業者、および食品を摂取する消費者などの関係者の中で、双方向的にリスクに関する情報や意見を交換するプロセス

15

これまで安全性の問題は、専門家、行政、メーカーに任されてきた



新しい考え方では、食品を毎日食べそれにより生活と健康を維持している消費者自身が参加し、社会全体の責任において、食品安全を達成してゆこうとしているといえる

16